

平成 24 年 8 月 24 日

日本貨物鉄道株式会社

上海下関フェリーとの接続による日本・中国間 「SEA & RAIL サービス」新ルートの開設について

日本貨物鉄道(株) (以下、JR貨物) は、下関港 (山口県下関市) と太倉港 (中華人民共和国 江蘇省 蘇州太倉市) との間に就航している上海下関フェリーと接続した JR12 フィートコンテナの国際複合一貫輸送「SEA & RAIL サービス・蘇州ルート」のサービスを開始します。

新ルートの開設にあたり、既存の鉄道利用運送事業者の窓口に加えて、弊社グループ会社による SEA & RAIL サービスの受付窓口も新たに設け、幅広くお客様にご利用頂ける仕組みを構築しています。

今回、すでに実績がある上海ルート・青島ルートに加えて中国との航路接続ルートが増強されることから、輸出入貨物の一層の鉄道利用増加が期待されます。

○ 「SEA & RAIL サービス・蘇州ルート」概要

1. 接続船社・航路区間 上海下関フェリー株式会社： 下関港 ～ 太倉港

2. サービス開始日

(輸出) 平成 24 年 8 月 29 日 (水) 下関港出港便から

(輸入) 平成 24 年 9 月 7 日 (金) 太倉港出航便から

3. 輸送区間

日本国内各貨物駅 ⇔ 下関駅および北九州貨物ターミナル駅 ⇔ 下関港 ⇔ 太倉港
(鉄道輸送) (トラック輸送) (海上輸送)

4. 輸送日数 (例)

東京貨物ターミナル駅 ～ 下関駅 ～ 下関港 ～ 太倉港

鉄道輸送 2 日間 (当日接続) フェリ-航送 2 日間 計 4 日間

5. 受付窓口

(1) 全国の鉄道利用運送事業者

(2) (株)ジェイアール貨物・インターナショナル (JR貨物 100%出資グループ会社)
(東京都大田区大森北 2-3-15-5F、連絡先 03-5493-1112)

6. 下関市による助成制度のご案内 (参考)

下関駅から JR貨物を利用し、鉄道での輸送距離が 500 km 以上となる新規貨物については、鉄道利用運送事業者を対象とした「下関市モーダルシフト利用促進補助制度」の適用が受けられます。

詳細は、下関市ホームページ (記者発表資料 7 月 4 日付) をご参照ください。

12フィートコンテナの国際複合一貫輸送「SEA & RAILサービス」 一覽概略図

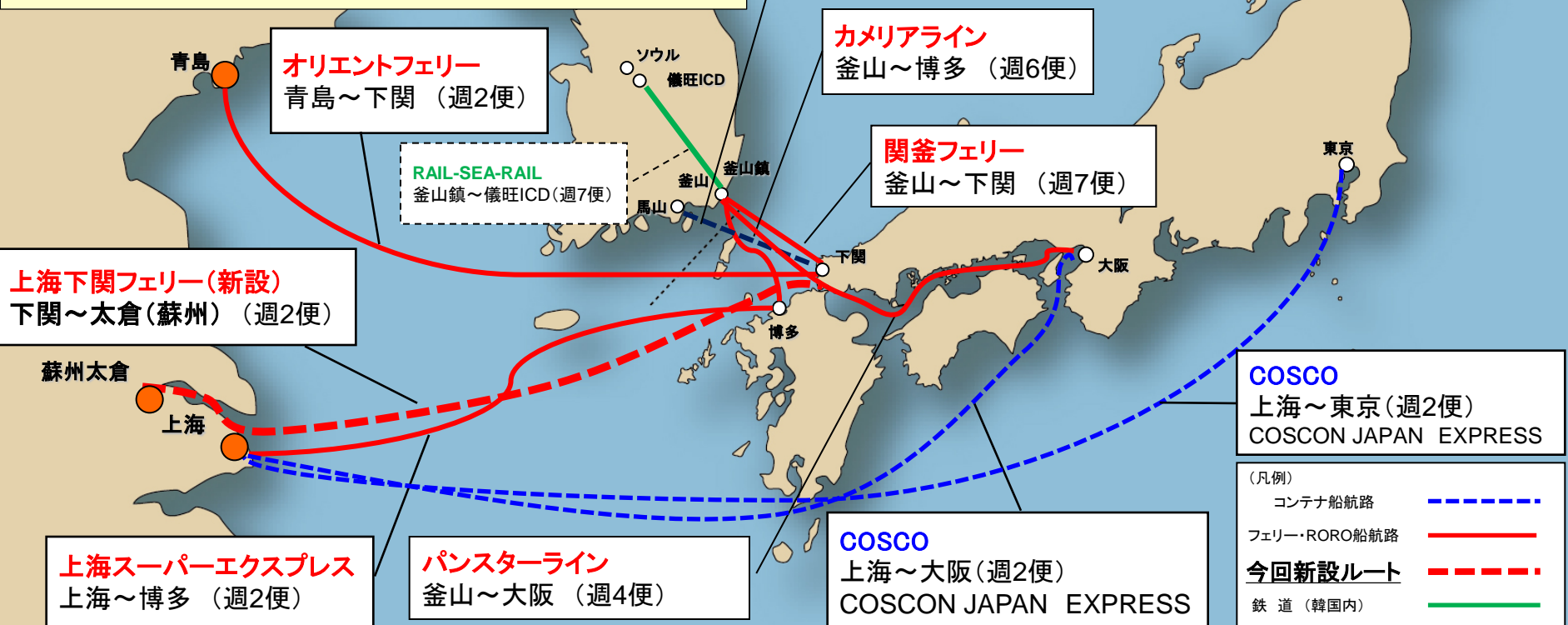
(2012年 8月現在)

JR12フィートコンテナ(19D形式)



【基本仕様】
 内容積 18.7m³
 内法寸法(mm)
 H2252 × W2275 × L3347
 最大積載量 5t
 扉構造 両側開き(妻側開きも有)
 国内取扱駅 全国154カ所の貨物駅・オフレルステーション

日本国内はJR貨物の全国ネットワークで輸送できます。お近くの貨物駅が輸出入の拠点になります。



長錦商船(SINOKOR)
馬山～下関 (週6便)

カメラライン
釜山～博多 (週6便)

関釜フェリー
釜山～下関 (週7便)

オリエントフェリー
青島～下関 (週2便)

RAIL-SEA-RAIL
釜山鎮～儀旺ICD(週7便)

上海下関フェリー(新設)
下関～太倉(蘇州) (週2便)

COSCO
上海～東京(週2便)
COSCON JAPAN EXPRESS

(凡例)
 コンテナ船航路 ————
 フェリー・RORO船航路 ————
今回新設ルート - - - -
 鉄道(韓国内) ————

上海スーパーエクスプレス
上海～博多 (週2便)

パンスターライン
釜山～大阪 (週4便)

COSCO
上海～大阪(週2便)
COSCON JAPAN EXPRESS